

# 平成 30 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,644,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

## ●利用状況

		H30下半年	H30上半期	H29下半年	H29上半期	H28下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,385	9,443	8,574	10,280	8,624
	移動児童館利用者数	485	246	360	307	475
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	15(11)	13(11)	14	13	15
	開館日数(単位:日)	151	151	151	157	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人(児童厚生員は所長を含め3人)。 ③児童センター便りを毎月発行し、担当エリアの小学校に配布。未就園児用の便りを毎月と学期ごとの2種類発行。館内に行事の案内板を作り掲示、児童センターと法人のホームページに掲載。移動児童館や親子ふれあい教室の参加者には利用案内を配布。 ④利用者アンケートの意見については、マニュアルに従い対応。アンケート結果については館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を週2回実施。それ以外は職員が清掃を実施。おもちゃ等の消毒も定期的実施。 ③使用していない部屋の照明やエアコンの節電、エアコンの適正温度での使用を実施。節水の実施。リサイクルの活用。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修繕。施設内の簡単な部品交換で修理可能な修繕は職員が実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	大規模な修理については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。近隣に被害を及ぼすもの、利用者に影響があるものについては、すぐに対応。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②毎月1回の防災訓練の実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年12月6日～平成31年1月22日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数56人 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年12月22日～平成31年3月16日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数52人(小学:1年12人、2年10人、3年10人、4年0人、5年12人、6年0人、 中学:1年0人、2年0人、3年8人、高校:1年0人、2年0人、3年0人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 明郷(14人) 島(11人) 城西(5人) 徹明さくら(4人) 則武(4人) 本荘(4人) 岐阜(3人) 長良西(2人) 長森西(2人) その他(7人) 【年齢】 10代(0%) 20代(7%) 30代(63%) 40代(30%) 50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(7%) ほぼ毎日(0%) 週2～3回(9%) 週1回(55%) 2週間に1回(5%) 月1回(23%) その他(0%) 【来館相手】 子(91%) 孫(0%) 友人(9%) その他(0%) 【子・孫の年齢】 0才(14%) 1才(25%) 2才(38%) 3才以上(23%) 【来館方法】 徒歩(14%) 自転車(7%) 自家用車(79%) 公共交通機関(0%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(32%) 広報紙・チラシ(5%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(2%) 知人・友人(54%) ぎふし子育て応援アプリ(0%) ブログ・SNS等のソーシャルメディア(0%) その他(7%) 【評価】 (あいさつ)……満足(84%)、ほぼ満足(12%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(84%)、ほぼ満足(12%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(84%)、ほぼ満足(11%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(73%)、ほぼ満足(16%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(2%) (整理整頓)……満足(80%)、ほぼ満足(18%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(75%)、ほぼ満足(19%)、普通(4%)、やや不満(2%)、不満(0%) (換気)……満足(70%)、ほぼ満足(25%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)  (小・中・高校生用アンケート) 【学校名】 明郷小学校(35人) 中央中学校(8%) 岐阜小学校(4人) 徹明さくら小学校(3人) 日野小学校(2人) 【学年】 小学:1年(23%)、2年(19%)、3年(19%)、4年(0%)、5年(23%)、6年(0%)、 中学:1年(0%)、2年(0%)、3年(16%)、高校:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(6%)、週4・5回(4%)、週2・3回(23%)、週1回(19%)、 その他(46%) 【来館相手】 ひとり(12%)、友人(57%)、兄弟姉妹(0%)、父母(27%)、祖父母(0%)、 親戚(0%)、その他(4%) 【来館方法】 徒歩(29%)、自転車(58%)、自家用車(13%)、バス・電車(0%) 【好きな遊び】 ボール遊び(24%)、工作やおやつ作り(22%)、ボードゲーム(12%)、卓球(11%)、 一輪車(7%)、ビリヤード(6%)、その他(18%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・駐車場の台数が少ない、狭い。 →駐車場は他に確保できる場所がありません。運動場に駐車してください。 ・駐車場がいっぱいの時は、誘導をしてもらえるとありがたい。 →車の多いときは、こちらに停めてくださいと案内しています。職員が出遅れた時があり、申し訳なかったです。 ・仕事等で参加できない方が増え、少し寂しい時もありますが、参加される方を増やしていけるとにぎやかになり良いと思います。(親対象クラブの方より) →新年度にまた募集をします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A	
		区分評価			A		
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		区分評価			A		
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A
⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A	
区分評価				A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A	
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A	
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A	
		区分評価			A		
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A	
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A	
		区分評価			A		

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□新規事業実施について 母親クラブに協力をしていただき、幼児親子対象に感触遊びの講座を実施した。0歳の乳児を持つ母親対象に野菜を使ったおやつ「さつまいもボーロ作り」の食育講座を実施した。</p> <p>□事業の継続的な実施について 健全育成事業、地域組織活動支援事業、子育て支援事業を継続的に実施した。母親対象に「ヨガ教室」や「絵本の読み聞かせ教室」、「食育講座」、「お正月リース作り」を実施した。「育児相談」ができる機会も定期的に設けた。児童対象に人気の工作や季節行事を実施した。</p> <p>□利用者促進について 要望の多い「手形足形の工作」や「バッジ、マグネット作り」を自由参加の幼児クラブや移動児童館でも行った。母親クラブに協力してもらい、未就園児親子対象に、まつりやハロウィン行事を実施した。幼稚園児の利用が少ないため、幼児親子と小学生を対象に作って遊べる工作を月に1回実施した。移動児童館の参加者や中市民健康センターでの乳幼児健診時に児童センターの案内や幼児用の便りを配布したり、置かせてもらった。ホームページの情報はこまめに更新し、いつも最新の情報を利用者に届けるように努めた。</p> <p>□地域とのつながり 明郷小学校運営協議会 地域行事部の委員として、地域から児童を見守る活動を行った。盲学校の6年児童に幼児クラブの親子交流の様子を見てもらい、児童センターの役割を学んでもらった。岐阜高校吹奏楽部の定期演奏会の案内を掲示した。青少年育成市民会議の事業「親子ふれあい教室」や「合同交流会」へ協力した。本郷まちづくり協議会から依頼を受け、文化祭のステージに出演をし、児童センターの活動のPRをした。鬼やサンタクロースを地元や他の施設の方に依頼し、幼児クラブを盛り上げてもらった。</p> <p>□ボランティアの活躍について 近隣の学校に呼びかけ 募集を継続的に行った。クリスマスツリーの飾りつけやスポーツ行事の手伝い、さつまいも栽培、玉ねぎの苗を植えてもらった。栽培したさつまいもは小学生の収穫体験に活用できた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>□昼食については、登録制クラブ後に遊戯室で昼食を食べてもらった。</p> <p>□児童に積極的に関わり、子どもを通して保護者とも信頼関係を築けるように努めた。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団の法人ホームページと児童センターのホームページから本郷児童センターの毎月の便りが見られるため、より広く利用者へ広報ができた。アンケート調査で事業に何を見て施設を知ったかの質問に対し、56名中32%の方が、ホームページを見てと回答されたため、ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新をより密にしていきたい。</p> <p>□各校区の青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室や移動児童館で児童センターの案内や便りを配布し、事業内容を説明し、利用促進を図った。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□職員は今後もさまざまな研修に参加し、利用者の求めているものに応えられるよう資質向上を図っていく。</p> <p>□母親クラブや運営委員にもさらに声をかけ、地元住民のボランティアの受け入れを行い、児童センターに協力をしていただく。</p> <p>□学生だけでなく、大人のボランティアを継続的に受け入れていく。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月の児童センターの「おたより」を、担当地区の小学校の全児童へ配布したほか、移動児童館の折におたよりを持参したり、公民館やふれあい保健センターへの利用案内やおたよりの配置、ホームページをこまめに更新する等利用促進に努めた。また、未就園児用の「おたより」を毎月発行し、子育て中の保護者にPRした。</p> <p>○移動児童館について、年間28回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)を達成されている。</p> <p>○母親クラブの協力を得て、新たに小麦粉粘土を利用した「感触遊び」の講座を開催する他、人気の教室や講座を継続して開催し、育児相談ができる機会も定期的に開催した。</p> <p>○青少年育成市民会議の行事に参加したり、隣接する施設の方に幼児クラブの行事に協力してもらったりと、地域とのつながりを深めることに努めている。</p> <p>○インフルエンザなどの感染症の流行や他の公共施設において事故等が相次ぐ中、安心安全な施設運営を心がけ、事故等が発生しなかったことを評価したい。</p> <p>○職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>子どもの視点からおもちゃや遊具を整理・点検・充実させるなど、さらなる利用者サービスの向上を期待したい。ボランティアについて、近隣の学校に呼びかけるなど積極的に参加を促しているところを評価したい。</p> <p>職員や施設、クラブへの意見や要望からも、職員がきめ細かく利用者に接している様子が伺え、好感が持てる。</p> <p>昼食について工夫するなど、前回までの意見を踏まえた取組みを実施しているが、今後も継続していただきたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---